

第7章 計画の推進

1 計画の推進体制

(1) 庁内推進体制の充実

本計画に基づく諸施策の実施については、保健、医療、福祉、子育て、教育等、庁内での連携のもとに推進していく必要があります。特に、高齢化が進む中、高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施*、医療機関・関連団体との連携による健康づくりの支援を中心に関連部署及び関連機関との協議・調整を行い、連携・協力体制を充実していきます。

(2) 住民の参画と協働による推進

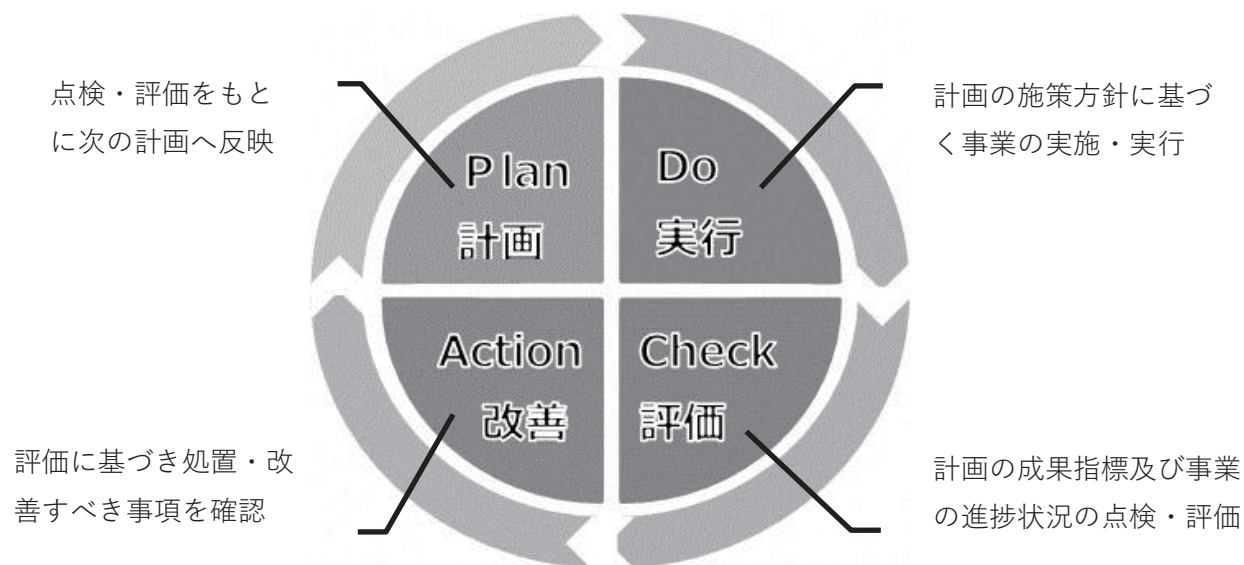
計画の推進には、ともに支えあう地域共生社会の実現をめざし、地域住民や多様な主体による協力と連携が必要です。

地域住民の参画と協働により計画を推進していくため、本計画について住民に対し広く周知し、理解・支援への参画等の働きかけを行います。

2 計画の管理・評価

本計画の着実な実行に努めるため、計画の進行状況の取りまとめを行うとともに、必要に応じて計画の評価検証や関係機関との協議により「計画(Plan)－実施・実行(Do)－点検・評価(Check)－処置・改善(Action)」の「PDCA マネジメントサイクル」に基づく、計画の点検・評価を行います。

■PDCA マネジメントサイクルに基づく計画の評価・点検



資料編

■ 計画策定の経過

実施日（期間）	内容
令和 5 年 10 月 12 日	■第 1 回健康づくり推進協議会 ・志免町健康増進計画「健康しめ 21」の策定について ・計画策定のスケジュールについて
令和 6 年 6 月 27 日	■第 2 回健康づくり推進協議会 ・町民アンケート調査票について ・ワークショップの開催について
令和 6 年 7 月 12 日 ～7 月 31 日	■町民の健康づくりに関するアンケート調査 ・町民の健康に関する意識や行動、今後の健康づくり活動に関する意見等を把握する目的で実施
令和 6 年 9 月 5 日	■第 3 回健康づくり推進協議会 ・町民アンケート結果報告及び計画の重点課題について ・現計画のふりかえりについて ・第 3 次計画の基本構成について ・ワークショップの実施内容について
令和 6 年 9 月 28 日	■健康づくりワークショップ ・町の健康づくりに関わる団体関係者等が参加し、5 つの健康づくりのテーマごとにグループを編成し、町の課題やこれから必要な取組について意見交換を行いました。 ①より良い生活習慣の形成、こころの健康づくり ②生活習慣病の発症予防・重症化予防と女性の健康 ③食生活の改善と口腔の健康 ④若い世代の身体活動や運動習慣の定着 ⑤高齢者の身体活動や運動習慣の定着とフレイル予防
令和 6 年 11 月 28 日	■第 4 回健康づくり推進協議会 ・計画素案の説明 ・計画素案の「町民のめざす行動目標」についての協議 ・計画素案の「目標指標」についての協議 ・パブリックコメントについて
令和 6 年 12 月 20 日 ～令和 7 年 1 月 20 日	■パブリックコメントの実施
令和 7 年 3 月 6 日	■第 5 回健康づくり推進協議会 ・パブリックコメント結果の報告 ・計画案（最終案）の報告

■ 志免町健康づくり推進協議会委員名簿

関係機関名	名称	委員名	備考
保健医療関係団体	志免町医師団代表	安 森 耕	会長
	志免町歯科医師団代表	増 田 崇 信	副会長
町内会連合会	志免町町内会連合会	山 田 隆 義	
シニアクラブ連合会	志免町シニアクラブ連合会	伊 賀 健 信	
食生活改善推進会	志免町食生活改善推進会	助 村 千 代 子	
社会福祉協議会	志免町社会福祉協議会	川 崎 輝 昌	
学校教育関係者	志免町学校校長会代表	宮 邊 淳 一	
社会教育関係者	志免町スポーツ協会	高 橋 と き え	
識見を有する者		金 屋 美 子	
		白 石 一 彰	
		辻 ヨ シ ノ	



志免町健康づくり推進協議会の様子

■ 用語解説集

用 語	解 説
■ アルファベット	
BMI	肥満の判定に用いられる体格指数のこと。体重 (kg) ÷ 身長 (m) ÷ 身長 (m) で求めることができる。18.5 未満を「やせ」、25 以上を「肥満」としている。
COPD	慢性閉塞性肺疾患。主として長期の喫煙によってもたらされる肺の炎症性疾患で、咳・痰・息切れ等の呼吸障害が進行する。
DV	Domestic Violence の略称。配偶者（事実婚、別居を含む）やパートナー等親密な関係にある、またはあった人から振るわれる暴力のこと。
eGFR	腎臓にどれくらい老廃物を尿へ排泄する能力があるかを示す指標。この値が低いほど腎臓の働きが悪いとされる。
HbA1c （ヘモグロビンエーワンシー）	赤血球の中にある酸素を運ぶヘモグロビンに血液中の糖が結合したもので、過去 1～2 か月間の平均血糖値を表す。
HDL コレステロール	「善玉コレステロール」とも呼ばれ、主に体内の組織からコレステロールを受け取り肝臓に運ぶ役割をもつ。
LDL コレステロール	「悪玉コレステロール」とも呼ばれ、肝臓でつくられたコレステロールを体内の組織に運ぶ機能があり、過剰となると動脈硬化の原因となる。
■ ア行	
悪性新生物	悪性腫瘍のこと。細胞が何らかの原因で変異して限りなく増殖を続け、周囲の正常な組織を破壊する腫瘍で、がんや肉腫等が含まれる。
■ カ行	
ゲートキーパー	悩んでいる人（自殺の危険を示すサイン）に気づき、声をかけ、話を聞いて必要な相談窓口につなげ、見守る人のこと。
血糖コントロール	高血糖による合併症を起こさないために、個別に設定された値を目標として、食事療法、運動療法、薬物療法等を行うこと。主に HbA1c が目安となる。
健康格差	地域や社会経済状況の違いによる集団における健康状態の差のこと。
健康寿命	日常的に介護を必要としないで、自立した生活ができる生存期間のこと。平均寿命から介護等が必要な期間を引いた数が健康寿命となる。
合計特殊出生率	15 歳から 49 歳までの女子の年齢別出生率を合計したもので、一人の女性が仮にその年次の年齢別出生率で一生の間に産むとしたときの平均子ども数に相当する。
高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施	高齢者の心身の多様な課題に対応し、きめ細かな支援を実施するため、高齢者の保健事業について、後期高齢者医療広域連合と市町村の連携内容を明示し、市町村において、介護保険の地域支援事業や国民健康保険の保健事業と一体的に実施すること。

用 語	解 説
子育て世代包括支援センター	母子保健法に基づき市町村が設置するもので、保健師等の専門スタッフが妊娠・出産・子育てに関する様々な相談に対応し、必要に応じて支援プランの策定や地域の保健医療・福祉の関係機関との連絡調整を行う等、妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援を一体的に提供している。令和6年度からこども家庭センターに移行している。
骨粗鬆症	骨密度の低下又は骨の質が劣化して骨が弱くなり、骨折しやすくなる病気。
こども家庭センター	全ての妊産婦、子育て世帯、こどもへ一体的に相談支援を行う機能を有する機関として市町村に新たに設置したセンター。
■ サ行	
スクールカウンセラー	心理についての専門性を持ち、学校において、児童・生徒が抱える様々な課題について解決のための助言や指導等を行う専門職。
スクールソーシャルワーカー	学校を拠点に、不登校や家庭内暴力等子どもが抱える問題に対し、福祉的な視点から解決を図る専門職。
生活習慣病	不適切な食事、運動不足、ストレス過剰や休養の不足、喫煙、飲酒等の生活習慣に起因すると考えられる病気のこと。代表的な生活習慣病としては、脂質異常症、高血圧、糖尿病、肥満、心疾患、脳血管疾患等がある。
■ タ行	
糖尿病	糖質を調節するインスリンの作用不足により、常に血糖値が高くなっている状態。自覚症状に乏しく、重篤な合併症を引き起こす特徴がある。
特定健診（特定健康診査）	メタボリックシンドロームの状態を早期に発見するための健康診査。国の「特定健康診査等基本方針」に即して各保険者が作成する「特定健康診査等実施計画」に基づき、40～74歳の被保険者及びその被扶養者を対象に行っている。
特定保健指導	特定健康診査の結果から、生活習慣病の発症リスクが高い方に対して、医師や保健師や管理栄養士等が対象者の身体状況にあわせた生活習慣を見直すためのサポートを行う。特定保健指導には、リスクの程度に応じて、動機付け支援と積極的支援がある。
■ ナ行	
認知症サポーター	「認知症サポーター養成講座」を修了し、認知症について、正しい知識を持ち、認知症の人への声かけや見守りを通して、住み良いまちづくりを行っていくボランティアのこと。
認知症初期集中支援チーム	医療・介護の専門職が家族等の相談等から、認知症が疑われる人や認知症の人及びその家族を訪問し、必要な医療や介護の導入・調整や家族支援等の初期の支援を集中的に行い、適切な医療・介護サービス等に速やかにつなぐ取組。

用 語	解 説
■ ハ行	
ふくおか健康ポイントアプリ	福岡県の実施する健康増進のためのアプリで、歩数や健（検）診受診、体重、血圧、食生活等の健康記録つけることでポイントが貯まり、ポイントに応じて協力店で特典が受けられる。
フッ素塗布	一定濃度のフッ化ナトリウム溶液（5～10ml）を塗る方法で、永久歯のむし歯予防手段として有効とされる。
フレイル	加齢とともに心身の活力（運動機能や認知機能等）が低下し、複数の慢性疾患の併存等の影響もあり、生活機能が障害され、心身の脆弱性が出現した状態。適切な介入・支援により、生活機能の維持向上が可能な健康な状態と日常生活でサポートが必要な介護状態の中間を意味する。
■ マ行	
慢性腎臓病（CKD）	慢性に経過する全ての腎臓病を指す。尿や血液、腹部超音波や CT 等病院や健康診断で行う検査で腎臓の機能に異常が見られ、その状態が3か月以上続いている場合に診断される。
メタボリックシンドローム	腹囲が基準以上（男性 85cm、女性 90cm）であり、かつ、高血糖、脂質異常、高血圧のうち、2 つ以上に該当すると、診断されるもの。
メンタルヘルス	心の健康、精神衛生のこと。
■ ラ行	
ライフコースアプローチ	乳幼児期から高齢期に至るまで人の生涯を経時的に捉えた健康づくり。
ライフステージ	人の生涯を幼年期・少年期・青年期・壮年期・老年期等に分けた、それぞれの段階。
ロコモティブシンドローム	運動器（身体運動に関わる骨、筋肉、関節、神経等）の障害により要介護になるリスクの高い状態のこと。